

●「鍛練館」設備・仕様



- *所在地：市川市市川南二丁目5-36
- *建物構造：鉄骨造 地上1階
- *敷地面積：467.10㎡ (141.30坪)
- *建築面積：280.05㎡ (84.71坪)
- *延床面積：280.05㎡ (84.71坪)
- *最高高さ：7.7m
- *柔道場畳：(公財) 全日本柔道連盟公認 国際規格 102畳敷
- *施工会社：設計・監理、施工／京葉都市開発(株)
施工／郡リース(株)
- *工期：平成26年8月5日～12月31日
- *竣工：平成27年1月9日



【導入設備】

- *空調機器：GHP 室外機 (標準7/8) 7.5馬力 1台
GHP 室外機 (ハイパワーPlus) 20馬力 1台
自立ユニット 1台
(停電時にも発電し電源使用が可能
空調使用時 1.1kVA、照明 6灯 500W、
コンセント 600W)
- *ガス機器：ガス給湯器 (32号) 1台
ガス乾燥機 1台
一口コンロ 1台

2015.02 現在

たんれんかん
『鍛練館』 柔道場

(多目的施設の概要)



つぎの「うれしい!」へ。
keiYO GAS

—— 武道を通じた地域との交流の場 ——

柔道場「鍛練館」の歴史は、柔道部の創部に始まります。

当時の社長・菊池仁（昭和42年3月～平成7年6月在任・故人）は、社会生活の中で「サービス」や「社会貢献」といった言葉があまり一般的ではなかった時代に、先見の明を持ちいち早くその大切さを説きました。

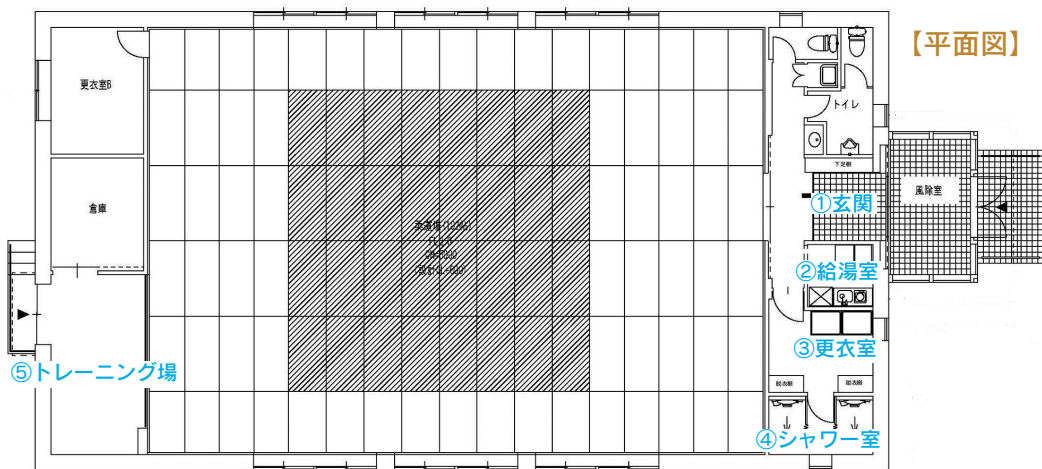
そうした中で昭和45年、武道を通じた人格形成の大切さとその必要性を基本理念に、柔道部を創部。開始当初は柔道場もなく、卓球場や会議室を間借りして練習を行う日々でしたが、昭和47年7月15日に柔道場「鍛練館（初代館長：菊池仁）」を開きました。

以来、スポーツを通じた、明るく健康的で文化的な地域社会づくりへの貢献を目的に、加瀬・諏訪・星といった全日本級・国際級の柔道選手を相次いで入部させると、昭和61・62年に全日本実業柔道団体対抗大会2連覇を達成するなど、京葉ガスの名を全国に知らしめることとなりました。

その精神は今に息づき、周辺の子らを集めた柔道教室を開催するなど、地域社会との交流強化をはかっています。また、鍛練館はそうした場として活用されるだけでなく、大地震などの災害時には、復旧のための応援要員の宿泊施設としても、利用される施設となっています。



⑤トレーニング場 ★



京葉ガス「鍛練館」柔道場



武道を通じ、たゆまぬ修養を積む柔道部員

■日々、精神と身体の鍛練に励む——



周辺詳細図

